―南アルプス　野呂川支流―

「小仙丈沢、仙丈ケ岳」

０９年７月 20 日

Ｌ 後藤　西村（文）

渓流釣りで有名な南アルプスの野呂川と、その支流の小仙丈沢へ釣りを兼ねて行くことになった。18 日朝発、芦安からバスで広河原経由、野呂川出合へ。林道を 2 時間 20 分歩いて両俣小屋へ。

19 日は悪天のため、沢登りは止め釣りに変更し右俣に入る。雨の中、半日頑張ったが二人とも坊主。やけ酒飲んで昼から寝てしまった。

20 日は快晴。5:00 にテントを出て 7:00 入渓。明るくてひらけて気持ちのよい沢だ。入渓して間もなく仙丈ケ岳のカールが見える。Ｆ１は直登、Ｆ２は右側の細い滝を登る。夏の日差しの中、カールをずっと見ながら快適な遡行が続く。標高 2170m で大滝に出る。遠くから見ると巨大な堰堤に見えるこの滝は、二条の滝からなりなかなかの迫力だ。高さは 15m 程だろうか、左岸手前のルンゼから高巻く。大滝を超えると沢はますますひらけ、小滝が連続する。標高 2400m で三俣に出る。一番左の沢を登り、10:50 小仙丈沢カール下部の源頭に着く。

カールの底に立つと、大きな鍋の底から周りを見上げているような感じで、実に面白い。所々雪渓が残り、高山植物が可憐で美しい。花の名前は全然分からないが、たぶん有名な花なのだろう。カールの上部は急登でガレているので息が切れる。昨日、二人とも昼から飲んだくれていたので調子が悪く、この急登はきつかった。１時間ほどカールを登って 12:00、仙丈ケ岳頂上直下の登山道に出た。

小仙丈沢は背後に北岳、前面に仙丈カールを見ながら登る、明るく楽しい沢だ。ザイルを出すような所はなく、巻きも容易だ。マイナーな沢なので入渓者も少なく、今回も遡行したのは私達だけだった。遡行後はカールに咲く高山植物と 3000m の大展望が待っている。ぜひお勧めの沢だ。

・標高差 1125m　・遡行時間４時間半

・地形図「仙丈岳」・装備　ザイル不要